

全国調査問題に込められた 授業改善のメッセージを生かしましょう。

©岡山県「ももっち」

5月27日(木)に2年振りに実施された全国調査は、全学年を通じた学習指導の改善、充実を図るための参考資料であり、目指すべき授業像が表現されています。ミニ研修等の場を設け、全国調査を題材に授業像を共有することで、教員が一体となって授業改善を推進することができます。



ポイント

©岡山県「うらっち」

全国調査 = 授業改善モデル + 学習状況の把握

小算 大問3

統計的な問題解決の方法を用いた考察 (図書アンケート)

小問(5) 趣旨 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。

小問(5)の会話文の一部



そうた

図書室でもっと本を借りてもらうために、5年生と6年生の読みたい本と、多くの5年生と6年生に読まれている本を、学校の図書室に置いてもらうことにしてはどうでしょうか。

児童が、データの特徴を読み取ることができればよいと思っていました。この問題のように**結論が出た後も、児童が課題を再設定する場**が必要になるのですか。



「問題の答えを導き出す」だけでなく、データやその分析結果を**生活や次の学習に活用しようとする態度を育成すること**が求められているのかもしれないね。

委員会活動という**身近な題材から問題意識をもつ設定**に興味をもちました。3年でも「表と棒グラフ」では、データの分類整理の方法や棒グラフの特徴の理解に加え、**日々の生活に生かせる場面を設定**したいと思います。



下学年からの積み重ねが大切ですね。どの学年でも、**単元全体を通して、既習事項と関連付け、知識・技能を習得する場面と思考力・判断力・表現力を育成する場面を計画**しておく必要がありますね。

他教科等の学習でも大切な視点ですね。児童が主体的に学ぶ授業づくりのヒントになりそうです。



『学習指導要領解説 算数編』ではどうなっているの？

[D データの活用] の記述から

統計的な問題解決活動における統計的探究プロセス

問題	・問題の把握	・問題設定
計画	・データの想定	・収集計画
データ	・データ収集	・表への整理
分析	・グラフの作成	・特徴や傾向の把握
結論	・結論付け	・振り返り

○見いだした特徴や傾向から**結論をまとめて表現したり、さらなる課題や活動全体の改善点を見いだしたりするプロセス**
○一方向に進んでいくものではなく、**相互に関連し、行き来しながら進むもの**

全国調査には、授業改善のヒントが示されています。

- リード文 → 学習活動のねらいや流れ、場面等
- 児童生徒の会話文 → 課題解決に迫るために取り上げたい発表例等
- 選択肢 → 学習における要点や典型的な誤答例等

教員同士で調査問題に込められた多様なメッセージを読み取り、共有したり、学習指導要領解説を確認したりすることをきっかけに、**日々の授業について気軽に話し合える雰囲気づくり**につなげましょう。

解説資料のDLは
国立教育政策研究所から



もう一押し!

